

今週のKinoppy新着情報一 学術書・教養書



21世紀の戦争論 昭和史から考える(文春新書)

半藤一利/佐藤優【著】 税込 ¥880 (紙の書籍 ISBN:9784166610723 2016/05刊)
文藝春秋

いまこそ歴史を武器に変えるとき！

昭和史研究とインテリジェンスの第一人者が、731部隊、ノモンハン事件、終戦工作、昭和陸海軍と日本の官僚機構・・・昭和史の中に組み込まれている悪の構造を顕在化させることに挑んだ。



興亡の世界史 オスマン帝国500年の平和(講談社学術文庫)

林佳世子 税込 ¥1,242 (紙の書籍 ISBN:9784062923538 2016/05刊)
講談社

14世紀の初頭、アナトリアの辺境に生まれた小国は、バルカン、アナトリア、アラブ世界、北アフリカを覆う大帝国に発展した。強力なスルタンによる広大な地域の征服から、「民族の時代」の到来により「多民族の帝国」が分裂するまでを描き、柔軟に変化した帝国の仕組みと、イスタンブルに花開いたオスマン文化に光をあてる。イラク、シリア、そしてパレスチナと、現在も紛争のさなかにあるこの地域を理解するためにも必読の書。



データサイエンティストが創る未来 これからの医療・農業・産業・経営・マーケティング

スティーヴ・ロー【著】久保尚子【訳】 税込 ¥1,728 (紙の書籍 ISBN:9784062179300 2016/05刊)
講談社

ビッグデータ革命の陰には、「データサイエンティスト」という名の開拓者たちの存在と組織の真剣な取り組みがある。本書は、そのようなデータサイエンティストと企業の物語、たとえばJ・ハマーバッカーとIBMを中心に展開する。ビッグデータは強力な手段になりうるが、限界も抱えている。データサイエンステクノロジーは、今まさに改善されつつあり、出番を待っている。データ資本主義時代の到来を活写した一冊。



地域再生の失敗学(光文社新書)

飯田泰之/木下斉/川崎一泰/
入山章栄/林直樹/熊谷俊人【著】 税込 ¥810 (紙の書籍 ISBN:9784334039158 2016/04刊)
光文社

地域再生の歴史は、失敗の歴史だったと言っても過言ではない。しかし今、その地域再生の成否に日本の未来がかかっている。これまでの試みが失敗してきたのはなぜか。本当に必要とされているものは何か。本書では、人口減少を前提とした地域の再編成と、そこにしかない強みを武器にした真の再生のための条件を探る。気鋭の経済学者が、一線級の研究者、事業家、政治家たちと徹底議論。地方がこれからとるべき選択のヒントを示す。



チェーホフ 七分の絶望と三分の希望

沼野充義 税込 ¥2,160 (紙の書籍 ISBN:9784062196857 2016/01刊)
講談社

チェーホフとは何者だったのか？不幸な子供時代、チェーホフをめぐる女たち、ユダヤ人問題、狂気と牢獄、世紀末ロシアのオカルト信仰、革命、喜劇問題、サハリン、病。ロシア・ポーランド文学の第一人者が、世界的短篇作家チェーホフの文学とその知られざる素顔を、新資料を駆使して描く新しいチェーホフ論。



絵とき 電気基礎入門早わかり 改訂2版

岩本洋/堀桂太郎【著】 税込 ¥2,268 (紙の書籍 ISBN:9784274505997 2016/02刊)
オーム社

電気の基礎がわかる2色刷り絵とき入門書。本書は、工高や高専の電気・電子課程で学ぶ「電気基礎」のカリキュラムに沿って、電気の基礎知識を絵とき解説した2色刷りテキストです。電子の振る舞い・電子の流れ・電流と電位差・電気抵抗・電気エネルギー・交流などについて、多くのイラストや図を用いてわかりやすく説明しています。単に読物風の解説に終始するのではなく、電気理論の本質をしっかりと理解できるように、必要に応じて数式を示し、学問としての電気工学の基礎を学習できるよう配慮しています。

★このような方におすすめ(高専、工高生・電気の初級技術者・電気を再学習する方)



新版 すぐできる量子化学計算ビギナーズマニュアル

平尾公彦【監修】武次徹也【編著】 税込 ¥3,456 (紙の書籍 ISBN:9784061543881 2015/03刊)
講談社

やりたい計算がすぐできる！分子の構造や遷移状態が知りたい、論文に計算による考察が必要だ、自分の実験に援用したい、などなど、量子化学計算を始める研究者に向けた実践書！大好評書が大改訂でよりわかりやすく！Gaussianに重点を置いた。



高分子赤外・ラマン分光法

西岡利勝 税込 ¥14,040 (紙の書籍 ISBN:9784061543867 2015/02刊)
講談社

材料開発に従事する企業研究者、大学で新材料の研究に取り組む研究者にむけた実用書。高分子の赤外・ラマン分光法の基礎(原理と得られる情報および測定法)と応用(現場の実例)を挙げて分析の進め方を説明する。



Fintechとは何か —金融サービスの民主化をもたらすイノベーション

隈本正寛/松原義明【著】 税込 ¥1,555 (紙の書籍 ISBN:9784322128734 2016/05刊)
金融財政事情研究会

FinanceとTechnologyの融合は革新か、それとも単なるバブルか。イノベーションの背景と金融機関への影響について、カラーの図表を交えていねいに解説。金融機関はベンチャー企業とどうかかわるべきか、ユーザーにとってのFintechのメリットはどこにあるのか、伝統的金融ビジネスはどうなってしまうのか。その本質を解き明かし、海外の豊富な先行事例をふまえて日本の金融サービスの課題と可能性を考える。Fintechの今と未来をこの一冊で正確に理解！



ドラッカーとトヨタ式経営

今村龍之助 税込 ¥1,555 (紙の書籍 ISBN:9784478006634 2008/08刊)
ダイヤモンド社

マネジメントの父ドラッカーが50年前に伝えた「経営の処方箋」と同じことを愚直に続ける企業があった。それがトヨタである。いまや世界の自動車メーカーへと成長しつつあるトヨタの経営手法をうまく学ぶためには、ドラッカーの『現代の経営』を併せて分析するといいい。そこからは、成功する企業の基本条件を見出すことができる。



中上健次電子全集2『紀州サーガ2 オリユウノオバと中本の一統』(中上健次電子全集)

中上健次 税込 ¥2,101 (2016/05刊)
小学館

「路地」の語り部オリユウノオバが伝える中本の一統の生と死——『千年の愉楽』という「近代小説」の突然変異。「近代小説」の終焉の予感から、近代以前に遡る「物語」的要素の再導入によってその停滞を打破しようとした中上健次は、『千年の愉楽』で「路地」の産婆オリユウノオバを登場させた。姉妹作となる『奇蹟』は、いわばオリユウノオバとモノオジのいる「路地」の戦後的な年代記だ。



ゼロ・トゥ・ワン 君はゼロから何を生み出せるか

ピーター・ティール/ブレイク・マスターズ【著】瀧本哲史【序文】関美和【訳】 税込 ¥1,382 (紙の書籍 ISBN:9784140816585 2014/09刊)
NHK出版

空飛ぶ車が欲しかったのに、手にしたのは140文字だ「もし本気で長期的な人類の発展を望むなら、ただの140文字や“永遠の15分”を超えた未来について考えなければならない。ZERO to ONE はシリコンバレーを教科書に、難題を克服してこれまで存在し得なかった偉大な物事を築き上げるための本だ」 by Peter Thiel
本書はそのペイパル・マフィアの雄、ピーター・ティールが、母校スタンフォード大学で行った待望の起業講義録である。



グローバリズムが世界を滅ぼす(文春新書)

エマニュエル・トッド/ハジュン・チャン/柴山桂太/中野剛志/藤井聡/堀茂樹【著】 税込 ¥880 (紙の書籍 ISBN:9784166609741 2014/06刊)
文藝春秋

世界経済でいま何が起きているのか? 「雇用や産業を保護するのは間違いで、規制撤廃こそ唯一の成長戦略であり、経済のグローバル化は歴史の必然だ」と言われるが、現実とはまったく逆。グローバリズムこそが経済危機、格差拡大、社会崩壊を招くという世界経済の真実に迫る。



勝てる野球の統計学セイバーメトリクス(岩波科学ライブラリー)

鳥越規央/データスタジアム野球事業部【著】 税込 ¥1,296 (紙の書籍 ISBN:9784000296236 2014/03刊)
岩波書店

「送りバントは有効な作戦でない」「打率より出塁率が重要」。統計学の手法で、従来の野球のセオリーを覆したセイバーメトリクス。メジャーリーグではチーム強化に必須のツールとして大活躍だ。このセイバーメトリクスを日本プロ野球の最新データを駆使して解説する。ひいきやライバルチームの戦力分析にぜひ備えておきたい一冊。



教養として知っておくべき20の科学理論 この世界はどのようにつくりられているのか? (サイエンス・アイ新書)

細川博昭【著】竹内薫【監修】 税込 ¥1,080 (紙の書籍 ISBN:9784797386356 2016/05刊)
SBクリエイティブ

謎が解き明かされるたびに、テレビや新聞に登場する科学のさまざまな理論。本書はこのなかから、いま、ビジネスマンが知っておくべき理論を厳選して解説しました。関連する理論も登場するので、短時間で、集中して知識を身につけたいビジネスマンに最適です。



科学の発見(文春e-book)

スティーヴン・ワインバーグ【著】 税込 ¥2,000 (紙の書籍 ISBN:9784163904573 2016/05刊)
大栗博司【解説】赤根洋子【訳】
文藝春秋

本書は不遜な歴史書だ!ギリシャの「科学」はポエムにすぎない。物理こそ科学のさきがけであり、科学の中の科学である。化学、生物学は物理学に数百年遅れていた。数学は科学とは違う。1979年のノーベル物理学賞を受賞した著者が、テキサス大学の教養課程の学部生にむけて行っていた講義のノートをもとに綴られた本書は、欧米で科学者、歴史学者、哲学者をも巻きこんだ大論争の書となった。容赦なく現代の科学者の目で過去を裁くことで、「観察」「実験」「実証」をもとにした「科学」が成立するまでの歴史が姿を現す。

研究者・図書館・法人のお客様のためのオンラインストア

紀伊國屋書店
BookWeb Pro
https://pro.kinokuniya.co.jp



紀伊國屋書店電子書籍アプリ
Kinoppy



お問い合わせ先: **BookWeb Pro課**
Mail: bwpro@kinokuniya.co.jp
Tel: 03-6910-0527 Fax: 03-6420-1370